



# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

## 地域訪問でいろんな声が寄せられました。「戦争は絶対ダメ！」や何より「嘘つく知事はいらない！」等

5月16日(土)、17日(日)の二日間、遠藤れい子の後援会ニュース読者などへの訪問行動で、大勢の方からご意見を伺いました。県内各地からも共産党の仲間が駆けつけ、遠藤れい子と一緒に市民の声を聞く活動に取り組んでくれました。

●大勢の方から「次は必ず当選するよう頑張れ、応援する」と励まされました。一番は物価高問題。「年金生活者にはこたえる。何とか細々生活をしている。物価を抑えるためにも早く戦争を終わらしてほしい」と。

●公園で子供を遊ばしている5人の子育て中のお母さんは、小学校給食無償化に喜んでいました。しかし、「来年継続できるかは不透明なんです。国が予算をつけるかどうかわからない」と話すと「えーそんなのダメです。続けてもらわないと」と声をそろえます。

●鉄鋼業を営む方は、「資材不足と値上がりでこのままでは廃業するしかない。自分だけではない。リーマンショックやコロナなんてもんじゃない。製造業は今最大の危機だ。でも国は分かっている」と悲痛な叫び。

●86歳のTさんはアンケートの「戦争はダメ！」にシールを貼り、「絶対戦争なんかダメらて。長岡空襲ン時5歳で母ちゃんに連れられて逃げた。学校町からトツテツ(栃尾鉄道)の線路沿いで悠久山に逃げて、翌日は半蔵金まで逃げた。今は一人暮らしになって誰も話し相手がいねなった。お茶のみにきてくれたら大歓迎」

●次に訪れたKさんは、「長岡空襲の時、父ちゃんは会社を守らなければとすぐに家を出て行ったそう。残された母は5歳の私と2人の弟を連れて悠久山方面に逃げたが、暗い夜なのに真つ赤に燃えて明るくて、あんまり怖くて途中のキョーリ畑に隠れて一晩過ごした。ほんとに怖かった。

戦争は絶対ダメだ。今まで家族にもだれにも話したことはない」

●遠藤れい子をよく知らないと言う方もいましたが、「原発は心配だ。県民に信を問うといったのに、県民投票をしないで県議会で再



5/3 憲法大集会で遠藤

稼働を容認させたことは許せない。だいたいウソ言う知事なんかだめらて。『新潟県のこととは県民が決める』と言ってる若い人にな変わってもらった方がいい」

●こうした声をお聞きし、再び日本が戦争しないこと。暮らしを改善し安心できる生活を保障する社会をつくること。これら国民の苦難を軽減することが共産党の仕事です。皆さん、共に頑張りましょう。

防衛費だけが膨らんで、医療や福祉は削減される。子育て支援金が健康保険料に上乘せされる。OTC類似薬が保険から外されて患者負担になる。物価高に加えて、生活は苦しくなるばかりです。

憲法9条改憲の反対署名の協力を依頼すると、大勢の方が「戦争は絶対ダメ」と心よく署名

にに応じてくれました。大勢の方が支持者を回ってお話する訪問活動。重たい足がどんどん軽くなるように感じました。行動は、何より元気が出ます。継続は力ですね！

遠藤れい子の笑顔でファイト

「戦争は絶対ダメ」と心よく署名



5/5街角でマイクを握る遠藤